

令和5年度小笠南小学校教育の振り返り＜中期＞について（お知らせ）

12月に実施した小笠南小学校学校評価アンケートへの御協力をありがとうございました。調査結果をまとめましたので御報告します。

		過去3年での最高値		過去3年での最低値		5ポイント以上変動	
調査項目	対象	R5前期 肯定的%	R5中期 肯定的%	R5数値目標	前回との増減		
1 学校が楽しい	児童	97.7	96.1		-1.6		
	保護者	96.3	96		-0.3		
	教師	100	92.9		-7.1		
2 みんなで何かをするのは楽しい	児童	97.7	98.5		0.8		
	保護者	97.2	99		1.8		
	教師	100	92.9		-7.1		
3 授業に主体的に取り組んでいる	児童	93.8	96.2	98	2.4		
	保護者	81.5	81.8		0.3		
	教師	92.9	85.7		-7.2		
4 授業がよくわかる	児童	92.3	96.9		4.6		
	保護者	84.3	87.9		3.6		
	教師	75.5	78.5		3		
5 学校に、信頼することのできる先生がいる	児童	96.1	92.2		-3.9		
	保護者	93.5	93.9		0.4		
	教師	92.9	92.8		-0.1		
6 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある	児童	89.1	89.9		0.8		
	保護者	54.7	62.6		7.9		
	教師	75.5	64.2		-11.3		
7 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできていると思う	児童	93.8	90.7		-3.1		
	保護者	79.6	87.9		8.3		
	教師	85.7	85.7		0		
8 授業では、コンピュータなどのICTをどの程度使っているか	児童	99.2	99.3		0.1		
	保護者	87	89.9		2.9		
	教師	100	100		0		
8① 学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使っているか	児童	98.9	98.9		0		
	保護者	—	—		—		
	教師	78.6	78.6		0		
8② 学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っているか	児童	96.6	98.9		2.3		
	保護者	—	—		—		
	教師	78.6	78.6		0		
8③ 学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っているか	児童	80.9	97.7		16.8		
	保護者	—	—		—		
	教師	71.5	64.3		-7.2		
9 進んであいさつしようとしている	児童	96.9	94.6		-2.3		
	保護者	80.5	81.8		1.3		
	教師	100	85.7		-14.3		
10 よりよい考えにするために、くらべて考えようとしている	児童	93	91.5		-1.5		
	保護者	74.1	79.8		5.7		
	教師	85.7	78.6		-7.1		
11 自分、学級、学校をよりよくしようと、進んで行動している	児童	94.5	94.6	95	0.1		
	保護者	71.3	75.8		4.5		
	教師	92.8	78.6		-14.2		

	調査項目	対象	R5前期 肯定的%	R5中期 肯定的%	R5数値目標	前回との増減
12	自分の考えや立場を相手に分かるように話そうとしている	児童	99.2	93.1	96	-6.1
		保護者	72.2	77.8		5.6
		教師	71.4	85.7		14.3
13	相手の考えや立場を分かるまで聴こうとしている	児童	97.7	96.2	96	-1.5
		保護者	73.2	78.8		5.6
		教師	85.7	71.4		-14.3
14	だれかの役に立とうとしたり、自分のよさに気付こうとしたりしている	児童	96.1	89.9	95	-6.2
		保護者	86.1	86.9		0.8
		教師	92.8	85.7		-7.1
15	くらべる・つなげる・まとめる力を身に付けることができている	児童	80.6	89.2	95	8.6
		保護者	—	—		—
		教師	71.4	71.4		0
16	学んだことを学んだ場面に応じて使う力・伝える力を身に付けることができている	児童	97.6	96.1	—	-1.5
		保護者	—	—		—
		教師	71.4	71.4		0

※保護者、教師を対象とした調査項目の主語は、「子どもは」です。

<アンケート結果の分析・考察>

全ての項目で80%以上の子どもたちが肯定的に評価しました。また、今年度重点的に育成を図っている資質・能力に係わる項目(数値目標を設定した項目)においては、【13】の項目のみ目標達成をすることができました。それぞれの資質・能力に係わる項目についての成果と課題は、次のとおりです。

(1) 主体性 【3】：96.2% 【11】：94.6% → ▲共に目標未達成

共に目標未達成ではありますが、両項目とも前回調査に比べて数値は上がっています。子どもたちがより主体的に活動したり学んだりできるようになってきたと考えられます。

(2) 人間関係形成能力 【12】：93.1% 【13】96.2% → ○【12】は目標未達成、【13】は目標達成

【13】は目標達成できたものの、両項目とも前回調査に比べて数値は下がってしまいました。「南っ子フェスティバル」という話す・聴く力を生かす行事があったからこそ、子どもたちがその2つの力をより意識し、さらに高いレベルに向かおうとしている表れだと考えられます。

(3) 自己肯定感 【14】：89.9% → ▲目標未達成

2学期はたいわきグッジョブカードやハンカチ・ティッシュすごろくの取組など、教師だけでなく、委員会活動の一環としても子どもたちの頑張りやよさを認め合う取組をしてきましたが、前回調査に比べて数値は下がってしまいました。来年度に向けて、より効果的な取組や言葉掛けをしていきたいと思えます。

(4) くらべる・つなげる・まとめる力 【15】：89.2% → ▲目標未達成

目標未達成であるものの、前回調査に比べて数値が大きく上がりました。2学期は授業の充実が図られ、子どもたちが授業の中で、これらの力を意識し、発揮しようと努力してきた成果だと考えられます。

(5) 表現力 【16】：96.1% → ○高い水準を維持

各授業において付けたい力を確実に定着させるためにルーブリック評価に取り組んだり、南っ子テストに向けたけぶれ学習の成果であると考えられます。また、南っ子フェスティバルに向けて、自分たちが学んだことを伝えようと様々な方法で表現し、発表したことも、力を大きく伸ばした要因だと考えられます。

また、保護者アンケート結果は、前回調査に比べ、全項目で数値が上がっています。保護者の皆様が常日頃からお子さんの頑張りを見取り、大いに褒め、認めてくださっていることがこの結果につながっているのだと思います。同時に、保護者の皆様が本校の教育活動を理解し、それぞれの取組や手立てが有効であったと感じていただけていることでもあり、大変感謝しております。

しかし、児童・保護者・教師の三者間に大きな差がある項目があることも確かです。特に学校教育の柱である「授業」に関しては、それぞれ10%程の差があり、来年度に向けてさらなる授業改善を進め、確かな学力を身に付けさせていく必要があります。

<皆様からいただいた御意見より>

本校の教育活動について、様々な御意見をいただきました。学校内で検討させていただき、変更や改善が必要な事柄については、来年度以降の教育活動に反映させていきたいと思っております。

また、子どもたちの頑張りや素敵な表れ等についても、子どもたちを温かい目で見てください、たくさんの御意見をいただきました。参考までに、いくつかの御意見を記載させていただきます。

- ・異学年との交流が盛んで、学年関係なく仲のよい子が多い。
- ・進んで気持ちのよい挨拶ができる子が多い。(朝の挨拶、横断歩道、道ばた等)
- ・南っ子フェスティバルでは、どのクラスの児童も主体的で、企画をととても楽しんでいる様子だった。大人たちも自分の子以外の子たちとふれあうことができ、新鮮な気持ちになれたと思う。
- ・宿題に進んで取り組んでいる。けぶれに沿って宿題を行い、不得意分野を自学として生かしている。

保護者の皆様からの温かいお言葉と貴重な御意見をありがとうございました。皆様の思いをしっかりと受け止め、今後も地域と学校が連携・協働して子どもたちの成長を支える学校を目指してまいります。学校も教育目標である「自信をもち 自分の力を発揮する子」の具現のため、精一杯努力してまいりますので、御理解・御協力のほど、よろしく願いいたします。